

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第3号 2019.6.1 発行

縄文人生活始まる

皆さん、縄文人の生活を楽しんでいますか？

なかなかかどらない石斧つくりすでにギブアップしてしまった人もいるかもしれませんが、こつこつと自宅でこっそり作業を続けている人も多いのではないかと思います。私も多少は文明の道具（金づち、ヤスリ）を使いながら石削りを続けていますが、なかなか縄文人（熊造園さん）のお許しが出るまでの大きさになりません。このはかどらない作業も令和の時代ではなく縄文時間と捉えて楽しみましょう。

5月24日～ フジヅル採取

フジヅルと言うと木に巻き付いているツルを木に登って採るとばかり思っていたら、地上ではなく地下に隠れた根を掘り起こして紐にするのだとは思いませんでした。フジの花が咲いている時にフジの木の在り処を探しておいた場所でフジヅル採りならぬフジヅル掘りが始まりました。少し前までフジの花をよく見かけていたので、「意外と簡単かも」と思っていたのですが、足場が悪くフジヅル採取が難しいところが多く、思ったほどフジヅルが集まってきていません。近くにフジヅルがありそうな場所があれば世話人までお知らせください。



フジヅルの根を手繰って掘り起こします。宝探しのようですがちょうど良い太さに巡り合いません。



集めたツルの皮を剥きます。ツルの芯を使うのではなく皮の方を使います。



一日で集められたツルの束

1500m以上必要とのことですが、どれだけあったら良いか？
検討もつきません

5月31日

縄文住居設計打合せ

フジヅル採取の後、南棟梁が作成した住居模型を目の前にして建設過程を打合せ。完成模型の骨組みはフジヅルの芯で作られており、捨ててしまう部分も無駄にしません。この模型をもとにして佐藤千香さんとの詳細設計に入り、必要な木材の本数や長さが割り出されていきます。



見える形になると想像が膨らみます
「温泉はいらない??？」



垂木の組み合わせ位置が確認できます
どのように組み上げるか検討が容易になります

【お知らせ】 ◆石斧の柄作成のための材木調達

石斧の柄にはカエデの木材を使いますが、石の刃を取り付けるためには適当な太さの幹とそこからほぼ直角に延びる枝があることが条件となります。

条件に合ったカエデの木が梅之木遺跡の近くにも少なく、多少遠征して調達する必要があります。

皆さんの住まい近くを散歩中に条件に合いそうなカエデの木を見かけたら世話係までご連絡ください。(あくまでも切ってもよさそうな森林で！)

◆石斧作成状況の確認

石斧を作成するため、柄の本数を把握しておく必要があります。南さんからもメールを出してもらっていますが、「作成中です！」と連絡をいただくとともに、斧となる石の大きさに木材を合わせる必要もあり、6月の中頃に一度持ち寄っていただく予定にしています。

また、メールでご連絡しますので、それまでガンバッテ？ いや、楽しんで作業を進めてください。

◆応援隊、差し入れ隊、、、歓迎します！！

これから梅雨のシーズンに入り、湿気と暑さの中での作業になってきます。

“力仕事はちょっと”という方も作業の見学や冷やかしがてら遊びに来てください。

《コラム：世話人のつぶやき》

予測していたことだが、何事も初めて、戸惑う事多々。縄文人の偉大さを再認識。

石斧材料採取、石斧作り、藤蔓採取・皮剥きの体験を経て、無理なく長続きさせる為に、特別作業を除き、作業日を金・土・日曜日の午前中（9:00~12:00）に決定、ホット一息。

佐野さん曰く、「先は長い（1年以上かかっても、構わない！）楽しく作業しましょう。」を思い出しながら、一步一步無理なく作業を進めましょう。